



Newsletter

No. 60

2014年12月5日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

香港オキュパイ「雨傘運動」がやってくる！

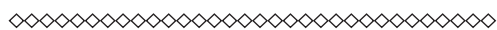
レイバーフェスタ「希望はここから！」12月20日・田町



13回目のレイバーフェスタは、世界と日本が直面する問題にズバリきりこむ企画になりました。安倍暴走のなかで、これまであたりまえだった平和や権利がボロボロにされています。しかしこれに負けずに、文化を通して声を上げていきたいと思ひます。

第一部は参加型企画の「3分ビデオ」

「川柳」です。あなたがいま一番言いたいことを表現してください。第二部では、新自由主義のしわ寄せをまともに受け、貧困・雇用不安を抱える青年の問題を取りあげます。名付けて「冗談じゃない！若者貧困社会」。ブラックバイトの実態に迫った話題のDVD『ブラックバイトに負けない！』上映と当事者の若者を交えた「トークセッション」を行います。竹信三恵子さん・首都圏青年ユニオンの神部紅さんの出演も決定。いまの青年を取り巻く現実、それに対してどうしたらいいのか、生トーク炸裂です。



12月20日(土) 10.30～17.15 (開場 10.00)

東京・田町交通ビル6階ホール (JR 田町駅「芝浦口」徒歩3分)

参加費 一般当日 1700円 (前売・予約 1500円)

障がい者・学生・失業者 一律 1000円

予約・問い合わせレイバーネット日本

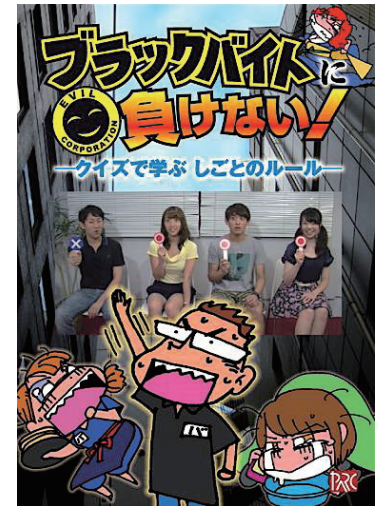
TEL 03-3530-8588

FAX 03-3530-8578 メール予約

http://vpress.la.coocan.jp/yoyaku-festa.html

主催 レイバーフェスタ 2014 実行委員会

第三部は今回のメイン「香港オキュパイ運動がやってくる」です。香港では「自分たちの首長は自分たちで選ばせろ」と学生・青年が民主化を求めて立ち上がり、2ヶ月間にわたって道路をオキュパイしました。機動隊に対抗した非暴力の「雨傘運動」は世界に衝撃を与えました。かれらは何をもとめ、どんな運動や文化をつくっているのでしょうか。オキュパイ運動の現場から、タムさん(独立系労組)とマルコさん(学生・メディア活動家)が初来日。映像・音楽を交えて報告します。さあ、12月20日は東京・田町で会いましょう。(詳細はチラシ参照)



〔プログラム〕

12月20日(土) 10.30～17.15

10:00 開場

10:30 第一部 いま伝えたいこと言いたいこと
・公募3分ビデオ 20本一挙上映
・公募川柳 優秀作発表

12:30 (休憩 55分) * 5Fで川柳ワークショップあり

13:00 レイバーソング 出演:ノレの会、板谷信彦 ほか

13:30 第二部 冗談じゃないよ! 若者貧困社会
DVD「ブラックバイトに負けない!」上映&トークセッション

竹信三恵子 (ジャーナリスト/和光大学教授)

神部 紅 (全国ブラックバイト告発キャンペーン)

当事者の若者たち (飛び入り歓迎!)

14:45 (休憩 15分)

15:00 第三部 香港オキュパイ運動がやってくる
ゲスト: タムさん、マルコさん

17:00 フィナーレ

17:15 終了

<レイバーネット活動予定>

●レイバーネットTV・第79号放送

12月10日(水) 午後8時～9時30分

テーマ「とんでもない! 秘密保護法施行」
(仮)

ゲスト=寺澤有さん (ジャーナリスト)

山下幸夫さん (弁護士)

2014年後期(9月～12月)の最後の放送です。

この日12月10日は、問題だらけの悪法・秘密保護法が施行される日です。寺澤有さんらフリージャーナリストは「秘密保護法違憲訴訟」を係争中です。報道の現場はどうなるのか、実態に迫ります。

こんな香港はこれまで見たことがありません！ 「雨傘運動」の現場を訪ねて



香港のオフィス街に突然現れた大きな空間＝オキュパイ・エリア

2016年の立法会（香港議会）と2017年の行政長官選挙をより民主的な制度で実施することを求めてオキュパイ（占拠）運動が2か月近くにわたって続いている香港に12月20日のレイバーフェスタ参加予定の2人のゲストを訪ねた。

「ここからがオキュパイの空間です」。オフィス街に突如あらわれた広大な空間。片道四車線の道路が両面にわたって鉄柵で封鎖されている。警察が設けた境界線だ。そこからさらに数百メートル先からが本当のオキュパイ・エリアになっている。各団体のテントや寝泊り用の個人テントなどがびっしり並んでいる。路面や壁のあちらこちらにさまざまなメッセージやオブジェ。「こんな香港をこれまで見たことはありません」と案内してくれたウェブ・メディア「独立媒体」のマルコは少し誇らしげだ。

9月末の学生らの闘争への警察の弾圧が、逆に巨大な市民らの街頭闘争を誘発し、現在まで2か月にわたって巨大なオキュパイ闘争が続いている。警察が使用した催涙弾や目つぶしスプレーなどに雨傘を広げて抵抗したことから、この闘争は「雨傘運動」と呼ばれ、現在も3か所で街頭占拠が続けられて

いる（11月26日現在）。

大学で新聞学を専攻していたマルコは在学中の3年ほど前から「独立媒体」の活動にかかわっており、現在は編集と運営に携わる専従スタッフの一人。「学生や教員などの特約記者による独自報道と、社会運動に携わる当事者らの発信が二大特徴です。今回の『雨傘運動』でもこれら執筆者が活躍しました。現在一日当たり7万のアクセスがあります」。



ウェブ・メディア「独立媒体」のマルコさん

ひとしきり案内をしてもらったところで、「街坊

工人服務処」という労働団体のテントの前で「民主サロン」と称する街頭討論会が始まった。この団体の活動するタム（譚）さんに話を聞いた。「労働者や市民の生活と普通選挙の実現をどう結び付けることができるのかが重要です。わたしたちの団体は労働問題と住民運動の立場から『雨傘運動』に参加しています」。



労働問題と住民運動に関わるタム（譚）さん

「雨傘運動」の熱気はまだまだ冷めることはなさそう。レイバーフェスタでその熱気を感じてほしい。

（レイバーネット国際部 I・Y）

レイバーネット国際部

ウェブサイト刷新の新たな試み

国際部ではここ数年、国内の市民運動や労働運動についてもっと外の人たちにも知ってもらおうと様々な努力をしてきた。レイバーネットHPに掲載された報告を翻訳してブログ掲載することが主な役割だが、当初の月10本から、メンバー4名に加えてボランティアさんらの協力により月12～13本に増やしてきた。また最近では、フェイスブックにページ（Labornet Japan International）を新設しアクセス増加につなげている。

先日レイバーネットでインタビューが掲載されたメディアパート編集長の言葉にもあったように、情報を拡散するには内容を充実させることだ。レイバーネットの報告記事の中には、運動内や国内

では詳細や背景が共有されているとみられるものでも、省略されたまま訳したのでは英語記事読者に伝わらないものが多い。情報を補足して英語に書き換えたものをお知らせするとともに、レイバーネット以外の情報にも目を光らせて随時紹介する必要性も感じる。

その中で、新しい取り組みを試みることにした。タイムリーな記事のダイジェストを、英語で短く放送するというものだ。まずは不定期にでもはじめてみて、どれだけの人に届くか試みてみようと思う。記事の英訳だけでなく、映像についても「やってみてほしい！」と思う方はぜひ国際部の活動にも参加してください。（松元ちえ）

11・22「がんばれメトロレディー！非正規大集会」報告 たたかいは文化を生み、文化はたたかいをすすめる

メトロコマース支部組合員がチンドンを先頭に、炭坑節の替え歌「メトロ音頭」を踊りながら会場を練り歩くフィナーレは圧巻だった。最後のシメは、いつもの「団結ガンバロー」ではなく「非正規だからって あきらめないぞー！」のコール。11月22日に開かれた「がんばれメトロレディー！非正規大集会」（東京・田町交通ビル6Fホール）は、従来の労組集会のイメージを大胆に塗り変えた。集会後のアンケートにも「組合がらみの固いイメージと違うところがおもしろい」「新しいタイプの集会で楽しかった」などの声が寄せられた。

こうしたアイデアはすべて当事者の組合員たちが出し合ったものだ。原点は東部労組の新年会の余興だった。ここから「伊勢崎町ブルース」の替え歌「メトロレディーブルース」や、メトロコマース版「白浪五人女」が生まれた。笑いの中にたくみに自分たちの想いをたくす彼女たち。そして、闘いの場がステージになったのが今年5月のストライキだった。退職する仲間に、会社が非正規社員には贈らない花束の贈呈式を行い、支援に集まった人々の熱い共感を呼んだ。

自分たちの思いをよりよく伝えるために、音楽やパフォーマンスを最大限使おうとする彼女たちの



姿勢は、「たたかいは文化を生み、文化はたたかいをすすめる」というたたかいと文化の原点を示しているように思う。レイバーフェスタが追求してきたものと同じだった。

今回の「メトロ音頭」は支部会議の途中、聞こえてきた盆踊りの「炭坑節」に着想を得たそうだ。柔軟で楽しい彼女たちの発想がこれからも多くの人をひきつけ、たたかいを広げてゆくだろう。そして労働運動の文化も変えてゆくに違いない。

(佐々木有美)

やはり韓国の労働運動は強い

～ソウル労働者大会に参加して

尾澤邦子

11月9日（日）、韓国の第44回労働者大会に参加しました。今年は、清溪(チョンゲ)広場に集合し、大会会場の大学路(テハンノ)までデモ行進し、午後4時から大会が行われました。日本のように厳しい規制で分断されながら行進するのと違い、組合旗を林立させた長蛇の行進は圧巻で、歌ありコールありの熱気ある行進は意気軒昂でした。テハンノでは、4車線の道路を封鎖し、音響と大画面を3



か所に設置し、約3万人の労働者が座り込んで大会を行いました。約30人の合唱隊がそれぞれマイクを持って労働歌を歌い、オープニング。ステージからは座り込んでいる人々の後ろの方は見えない状態。後ろの人々は映し出される大画面を見ながらの集会です。

毎年11月に行われる労働者大会は、「全泰壹(チョンテイル)精神の継承」を謳っています。1970年11月13日「労働基準法を守れ！我々は機械ではない！」と叫んで焼身抗議を行ったチョンテイルさんの闘いは、今も引き継がれています。「チョンテイル労働賞」の授与が行われました。今年は金属労組サムソン電子サービス支部に贈られました。サムソンという会社は労組を認めないことで有名ですが、難しい条件の中で、1800人の非正規職労働者を組織して闘っている労組の活動が、認められました。

とにかくその人数と迫力と熱気に圧倒されました。やはり韓国の労働運動は強いと実感しました。



GO GO レイバーネット

●「沖縄ボランティア特派員」佐藤茂美さん大活躍

会員の佐藤茂美さんが、11月19日辺野古からレポートを寄せてきた。「沖縄・辺野古では、新基地建設のためのボーリング調査作業が、急ピッチで進められています。19日政府のこの暴挙を許さないためダンプカーの出入りを一切させないよう座り込みをしました。何度も機動隊に



排除されてもめげず繰り返し（私は一番に引き抜かれてしまいました。ショック！）、ついに午後には機動隊もあきらめ、現地闘争団がゲートを支配する状況を作り出しました。そして、その後かれは帰京の予定を延ばして現場でのたたかいに参加し、連日報告を寄せた。20日発信。「蛇腹ゲートの隙間に入り込みワイヤロープに体を巻き付け、排除できない態勢で数時間抵抗しました（私も参加しました）。この態勢を8時まで保ち、機動隊を封じ込め闘い抜きました」。そして22日。「本日（22日）は、早朝闘争（？）で完全に体力を使い果たしてしまいました。しかし午前中の闘い、午後の闘いにテントは必要、まして一日雨模様。休みの日ということで労組、市民団体が多数駆けつける可能性大。10人前後でテント張り。慣れてきたけどきつい」。茂美さんの必死のたたかいが目に浮かぶようだ。でもその日事態が大きく変わった。工事が停止に追い込まれたのだ。「やった！勝利！テントではヤギ汁でやんやんやのお祭り！をしたとか」の言葉で、この日のレポートは結ばれていた。この一連の佐藤報告は、フェイスブックやツイッターで大反響だった。たたかいながらレポートした佐藤さん。レイバーネット的報道のひとつの典型だったと思う。「沖縄ボランティア特派員」、ごろうさまでした。

●フランス「メディアパート」編集長インタビュー

会員の菊池恵介さんから、フランスのインターネットメディア「メディアパート」のエドウィー・ブレネル編集長インタビュー記事が寄せられた。長文のインタビューだったがすばらしい内容。このインタビューは一年前に収録したものだが、「毎日新聞」に一部紹介されただけだった。菊池さんは全文を紹介したいと考えて「レイバーネット編集部」に持ち込んだ。「メ



ディアパート」の成功から学ぶことは多い。ブレネル編集長いわく「私たちは一貫して次のことを主張してきました。質が高く、公的利益となる情報には価値があり、しかるべき対価を求めるべきである、と。これは世界中のあらゆる新聞に言えることではないでしょうか。タダで質の高い報道を維持することはできません。逆に、いま独立したメディアを再建すれば、必ず読者が現れるはずだと信じていたのです。質が高く、独創性があり、しかも裏付けのしっかりした情報を配信し続ければ、きっと読者も購読料を収めてくれるはずだ、と。実際そのとおりになりました」。ぜひウェブサイトでお読みください。

●レイバーネット TV「慰安婦問題」特集の反響

8月の吉田証言報道の訂正・謝罪に端を発した「朝日新聞バッシング」問題。歴史修正主義の右翼は日本軍慰安婦の存在そのものを抹殺しようと勢いづいた。「ものが言えない雰囲気」がつくられる中、10月8日「レイバーネットTV」では、「慰安婦問題・歴史の書き換えはダメ！」の特集番組を組んだ。「私たちの戦争と平和資料館」の渡辺美奈さんがゲストだった。渡辺さんは、「朝日バッシング」の虚偽を、証拠を示して徹底反論した。わかりやすくしかもきちんと事実を押さえた内容で、番組の反響は大きかった。DVDにしてほしい、という要望もあり、特集部分のみDVDを作成したが、名古屋の大学などで活用されている。

★演劇『手と足をもいだ丸太にしてかへしー鶴彬の生涯』観劇に感激の熱気！連日完売の大成功となる

乱鬼龍

「レイバーネットTV」でも宣伝させていただいた本公演は、演劇人の力、川柳界有志の力、そして、この時代を憂い行動する多くの市民の力の結集となり、4



日間・6回公演のチケットが当日前にすでに完売となる大盛會となった。演劇の中身も、反戦川柳人鶴彬への想い、川柳への想い、この時代状況の中での鋭い表現への想いなど、いくつもの重い想いが重なり合ひ、観客の感動も実に素晴らしいものになった。

今回の成果は、お互いに力をあわせ協働すれば、1+1が2ではなく、3にも4にも5にもなることを示したと思う。この感動をこれからの行動の中にも、さらに活かしていきたい。ご支援いただいた皆さんに厚く御礼を申し上げるとともに、より一層の協働の前進をと、思うものです。

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 572 名

ウェブアクセス 1日 5000

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合や個人が全国にアピールできる絶好の場所です。

年会費 3,000 円

(B会員 = 5,000 円 通常 + TVサポート)

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本

銀行口座 東京都民銀行 小竹向原出張所

普通 55002960

入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org

電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578